

片想いの君へ・・・

佐藤 久枝

同じ美術部に所属して
同じクラスに2年間いたのに
結局何も話せなかったね

席換えで
隣同士になった時も
前後の席になった時も
まともに君の顔が
見られなかった

たった一度
接近できたのは
選択教科の古典の時
読めない漢字を
尋ねられて
ドキドキしながら
教えてあげた

何も言えずに卒業して行き
月日は流れ
モノクロームの記憶の中
今でも君を思い出す

卒業まであと授業日数42日

志望校（受験校）決定の後、残り30日間 いつも感謝の心を！！

受験生におくる心構え10ヶ条・前半

◆私学の進路相談を終え受験校が決定すると、あたかも合格したような気分になりやすい。
受験資格を得ただけで、すべては入試当日の出来と、当日までの頑張りにかかっています。

「やってトントン、サボれば最悪」これから何をすればよいのか？

箇条書きにしてみました。

1. 「つまみ食い学習」はやめよ！・・・・・・・・・・・・・・・・

問題集や参考書を机の上に何冊も飾って、目移りしながら、あれもこれもと勉強をしてはダメ。これを「つまみ食い学習」と言います。これでは、かえって不安がますます増えます。

2. 一冊の問題集を徹底的に「新しい問題集や参考書に手をだすな」！・・・・・・・・

今まで使っていた問題集を繰り返して何回もやりましょう。「これだけはやった」という自信につながります。かつ、問題集は、各教科できるだけ薄い物がいいでしょう。
最初から順番にやるのではなく、1ページおきにやったり、奇数番号の問題だけをやったりして、何回かに分けて一冊をマスターしましょう。2回目は解けなかった所を重点的にやりましょう。

3. 不得意教科は基礎基本問題をたくさんやる！・・・・・・・・・・・・・・・・

不得意科目は、難しい問題をやってできないと、かえって自信がなくなります。基本的な問題を多くやる方がよいでしょう。1、2年生の教科書を復習したり、基礎基本を主に扱った薄い問題集をマスターしたりしましょう。

4. 志望校の試験問題をやってみる！・・・・・・・・・・・・・・・・

志望校の試験問題の特徴や傾向になれること。過去3年間分の入試問題をやっておけばいいでしょう。その場合、時間配分も考えながら何回もやるのが大切です。

＜入試本番だと思って、時間も試験と同じ時間でおこなうこと＞

そして入試問題は難しいものです。自信をなくさないこと。自分と同じような学力の生徒が集まっているのですから、自分が難しいと思う問題は、受験生みんなも難しいと感じているのですから。**＜合格最低点をクリアしているかを確認すること＞**

5. 今からでも「暗記」はおそくない！・・・・・・・・・・・・・・・・

英単語や漢字、年表など暗記しなければならないものは、今からでも遅くありません。この時期は、いつもより真剣に覚えようとしていますから、今まで眠っていた能力が出てくる場合があるのです。寸暇を惜しんで暗記する。極端な話だが、トイレにも単語・慣用句・文型カードを持っていくこと。特に学校での自習時間を有効に使おう。

6. わかるまで人に聞け！積極的に友達に教える！・・・・・・・・・・・・・・・・

わからないところは、恥ずかしがらずに先生や友達に聞くこと。未解決のまま、残さないことです。逆に教えてあげることも大切です。意外と教えている途中で「アレっ！」と自分の盲点に気づくものですよ。